

ICT Advanced Seminar ～降雨災害の軽減に向けた気象レーダーの利活用～ 開催結果

- 日時: 2015年3月24日(火) 13:30～17:00
- 場所: グランフロント大阪ナレッジキャピタルタワーB 10階
- 来場者数: 71名(アンケート回収数33)
- 主催: けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会、
総務省近畿総合通信局、情報通信技術研究交流会(AC・Net)
- 概要:
ゲリラ豪雨、竜巻、突風などの災害の予防や軽減に向けて、気象レーダーの観測から得られるデータを、ソーシャルメディアによるデータとの組み合わせも含めて、いかに活用するのかをテーマに、第一線で研究・開発を進めている方々にその現状と今後について講演いただいた。気象レーダーWGのキックオフも兼ね、大勢の出席があり、ICTの活用による気象観測への応用事例がよくわかった、活用事例が具体的でわかりやすかったなどの感想をいただき、好評であった。



会場の様子

○プログラム

主催者挨拶

総務省近畿総合通信局長 奥 英之 氏

講演1

「ゲリラ豪雨の早期探知と危険性予測」

京都大学 防災研究所 教授 中北 英一 氏

講演2

「フェーズドアレイレーダーの防災への利活用」

大阪大学 大学院工学研究科 電気電子情報工学専攻 准教授

牛尾 知雄 氏

講演3

「ソーシャルxPANDAプロジェクト

～フェーズドアレイレーダーの今後の利活用について～」

情報通信研究機構 電磁波計測研究所

センシングシステム研究室 主任研究員 中川 勝広 氏



主催者挨拶: 奥英之氏



講演1: 中北英一氏



講演2: 牛尾知雄氏



講演3: 中川勝広氏



会場の様子